

1 事業名等(Plan 1)

事業名	市民海外派遣事業											
所属名	企画管理部 秘書国際課 秘書国際グループ											
第七次総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	分野	5	地域	基本 施策	1	地域に住み続けたいという思いを育てる	施策	4	ふれあいの推進
予算科目	2	1	5	国際交流	費	21520	市民海外派遣	事業				
					費			事業				
					費			事業				
根拠条例・実施要綱・担当部門計画等	市民海外派遣事業補助金交付要綱											
事業の実施主体	市		市以外		飛騨高山国際協会							
事業の実施方法	直営		指定管理		業務委託		○ 団体等補助		その他			

2 事業の目的・概要(Plan 2)

目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入

目的	誰のために(対象)	市民(中学生68人、高校生5人、社会人2人)	受益者数	75 人		
	対象をどういう状態にしたいのか(意図)	市民の国際理解の啓発を図り、幅広い知識をもった国際社会に対応できる人材を育成する。				
概要	事業の実施手法、手順	飛騨高山国際協会が実施する英語スピーチコンテストと市教育委員会が実施する公募試験により派遣市民を選抜し、派遣先の言語や文化について学習会を実施した後、1週間の期間で海外へ派遣する。派遣先のカナダとオーストラリアではホームステイを通じて異文化や外国の生活習慣を学びながら交流を行う。中国では歴史文化遺産の見学や友好都市麗江市の交流を通して両市の友好を深める。				
	事業始期・終期	始期	H4 年度から	終期	年度まで	設定なし
今年度の改善・改革ポイント	前年度の評価結果、指示事項等を踏まえ記入 契約による旅行者選定、コスト縮減					

3 事業費の推移・結果(Do)

【コスト面】		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
区分							
総合計画計画額(当初)		15,000	15,000	16,000	16,000	16,000	
総合計画計画額(計画額)		15,000	15,000	16,000	16,000	16,000	
事業費	予算額	15,000	17,600	16,000			
	決算・見込	15,643	11,378				
財源	国庫支出金	予算額					
		決算・見込					
	県支出金	予算額					
		決算・見込					
	地方債	予算額					
		決算・見込					
	受益者負担	予算額					
		決算・見込					
	繰入	予算額					
		決算・見込					
一般財源	予算額	15,000	17,600	16,000			
	決算・見込	15,643	11,378				
H17国勢調査 96,231 人 32,174 世帯 ※コスト→行政活動の単位当たり経費算出、変動を経年比較により、効率性評価							
コスト	受益者負担率(受益者負担/事業費)	単位	%				
	市民1人当たりコスト(事業費/H17人口)	単位	円/人	163	118		
	1世帯当たりコスト(事業費/H17世帯)	単位	円/世帯	486	354		
指標	受益者1人当たりコスト(事業費/指標)	単位	円/人				
	その他(空欄にコスト指標名記入、事業費をベースとして単位当たりコストを算出)	単位	円/人				

【成果面】

活動・成果指標	活動指標	投入した行政資源を使い、どんな活動を行ったか、どのようなサービスを市民に提供したかを表す指標	指標名	派遣人数	資料・出展 算出式	派遣人数 /	単位	人
	成果指標	活動やサービスを行った結果、市民にどのような影響(効果)をどれだけ与えたかを表す指標	指標名	派遣者が考える成果の割合(国際理解の深まり、自分の成長、将来の国際分野への関わり)	資料・出展 算出式	参加者アンケート /	単位	点

4 分析・評価(Check)

①事業の目的評価(事業の目的・概要に対する妥当性から事業の必要性を評価)		A:非常に高い		目的評価 B					
(現状及び判定理由)	外国人観光客が年々増加するとともに、外国籍住民との共生も重要な課題となっており、若い世代に異文化と接する機会を与え、国際化に対応できる人材を育成することが必要である。旧町村の海外派遣事業が本事業に統合されたため住民のニーズも高い。意欲と能力ある市民が誰でも挑戦できる機会を与えるため市の補助が必要。	B:高い							
		C:低い							
		D:非常に低い							
		②コスト面評価(事業費の推移、コスト指標の結果からコスト面を評価)		項目					
減 少		1		維持		増加			
(判定理由)	旅行者の選定について、派遣先ごとに最低見積額業者と契約することで、事業費の削減を図っているが、今後円高や原油の高騰などの影響により増減が予想される。	③ 成果面		拡大		維持		減少	
		O							
		減少							
③成果面評価(活動指標・成果指標から成果面を評価)		拡大		1		維持		減少	
(判定理由)	参加者の国際理解への深まりや将来の国際分野への関わりがきつかけとなった。	コスト・成果ポジション		A		第1水準			

目的評価「A・B」かつコスト・成果「第1水準」	→	I 「良い」	良好な水準を維持
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第2水準」	→	II 「やや良い」	「I」の水準に向けた改善が必要
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第3水準」	→	III 「普通」	「II」の水準に向けた改善が必要
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第4水準」	→	IV 「やや良くない」	「III」の水準に向けた改善が必要
目的評価「C・D」もしくはコスト・成果「第5水準」	→	V 「良くない」	「IV」の水準に向けた改善もしくは事業の休止、廃止などの検討が必要

分析・評価(Check)により明らかになった課題・問題点	旅行者の選定について、派遣先ごとに最低見積額業者と契約することで、事業費の削減を図る。
------------------------------	---

5 今後の方向性(Action)

評価結果に対する改善提案(下記チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・継続 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
活動の方針	派遣対象、派遣時期、派遣者選考方法等、基本的な事業内容について現状を維持する。
次年度の実施方針	現状維持

一次評価 主管課	I
判断の理由	意欲と能力のある市民が誰でも挑戦できる機会を与えるため、補助金の減額は適当でない。住民のニーズも高く、継続して行うべきである。

総合評価	中	中	III
判断の理由等	「II」以上の水準に向けた改善が必要 海外の友好都市などとの交流を深めるとともに、中学生のモチベーションの上昇、市民レベルでの交流の増加など次代を担う若者の高山への誇りの醸成に寄与している。今後も引き続きコスト縮減に努めるとともに、事業の効果測定を行い、より将来の高山を担う人材の育成に向け、実効性を高めていく必要がある。		